



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 天馬株式会社

コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤咲 雄司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 堀 隆義

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	19,882	12.7	1,185	93.8	1,620	83.2	1,412	△4.7
27年3月期第1四半期	17,639	9.5	612	△12.2	884	△42.3	1,481	8.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,561百万円 (24.7%) 27年3月期第1四半期 1,252百万円 (△65.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	56.74	—
27年3月期第1四半期	56.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	90,654	76,258	84.1	3,065.37
27年3月期	90,669	75,198	82.9	3,022.77

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 76,257百万円 27年3月期 75,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,400	11.6	1,600	66.6	2,100	64.5	1,700	△5.7	68.34
通期	80,300	6.9	3,600	34.6	4,500	7.9	3,900	2.1	156.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	28,813,026 株	27年3月期	28,813,026 株	
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,935,941 株	27年3月期	3,935,901 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	24,877,085 株	27年3月期1Q	26,087,521 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)におけるわが国経済は、輸出が伸び悩みましたが、個人消費が消費増税後の落ち込みから持ち直し、設備投資も良好な企業収益を背景に増加したこと等により、緩やかな回復傾向を辿りました。

一方、世界経済は米国で景気回復傾向が続きましたが、欧州ではギリシャ債務問題が紛糾し、中国をはじめとする新興国経済では成長鈍化の状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が、国内において個人消費の持ち直しを背景に増加し、工業品合成樹脂製品分野の売上高は、海外において電機電子を中心に増加しました。

この結果、売上高は198億82百万円(前年同期比112.7%)となりました。

利益面につきましては、売上増等により営業利益が11億85百万円(前年同期比193.8%)となり、経常利益は前年同期との比較では為替差損が減少したこと等により16億20百万円(前年同期比183.2%)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に発生した川口の工場跡地売却益のような多額の特別利益がなかったこと等により14億12百万円(前年同期比95.3%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、売上高が個人消費の持ち直し等により前年同期比増加しました。一方、工業品合成樹脂製品分野は、売上高が取引先の生産海外シフトに起因する電機電子等の受注減により減少しました。利益面は、売上増加と原材料価格の低下等により前年同期比増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は、61億25百万円(前年同期比103.1%)となり、セグメント利益(営業利益)は7億48百万円(前年同期比229.4%)となりました。

(中国)

中国においては、天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司が取引先の生産海外シフト等により厳しい状況にありますが、上海天馬精塑有限公司はハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が伸長し、天馬精密注塑(深圳)有限公司は引続き業績が堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、68億33百万円(前年同期比109.0%)となり、セグメント利益(営業利益)は3億51百万円(前年同期比103.1%)となりました。

(東南アジア)

東南アジアにおいては、インドネシア各子会社が同国の景気低迷により、苦戦を余儀なくされましたが、ベトナム各子会社は業績が伸長し、タイのTENMA (THAILAND) CO., LTD. は業績が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は、69億25百万円(前年同期比127.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は3億15百万円(前年同期比157.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、906億54百万円となりました。これは、現金及び預金が12億24百万円増加しましたが、原材料及び貯蔵品が4億41百万円、機械装置及び運搬具(純額)が4億円、建物及び構築物(純額)が1億92百万円、それぞれ減少したこと等によりです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億74百万円減少し、143億97百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が7億18百万円減少したこと等によりです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10億60百万円増加し、762億58百万円となりました。これは、利益剰余金が9億10百万円、その他有価証券評価差額金が2億62百万円、それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第1四半期連結累計期間の業績は、平成27年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を上回るペースで進捗しております。しかし、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念の高まり、ギリシャ債務問題の再燃リスクと欧州経済の停滞懸念、中国から東南アジアへの取引先の生産シフト等、当社を取り巻く経営環境は先行き不透明感が増していますので、第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました予想を変更せず、この達成に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,966,381	30,190,734
受取手形及び売掛金	15,363,740	15,271,752
商品及び製品	2,591,236	2,577,195
仕掛品	583,891	496,396
原材料及び貯蔵品	3,721,505	3,280,062
繰延税金資産	211,276	258,903
その他	1,972,562	2,095,915
貸倒引当金	△11,949	△12,494
流動資産合計	53,398,641	54,158,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,925,559	9,733,994
機械装置及び運搬具(純額)	11,465,663	11,065,170
その他	2,936,440	2,897,943
有形固定資産合計	24,327,662	23,697,108
無形固定資産		
3,306,246	3,278,787	
投資その他の資産		
投資有価証券	7,962,456	7,864,779
長期貸付金	77,500	61,601
退職給付に係る資産	1,135,439	1,138,606
繰延税金資産	120,193	115,870
その他	429,878	420,326
貸倒引当金	△89,050	△81,083
投資その他の資産合計	9,636,416	9,520,099
固定資産合計	37,270,324	36,495,994
資産合計	90,668,965	90,654,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,067,350	9,349,179
未払法人税等	389,203	274,608
賞与引当金	777,476	758,853
その他	3,066,202	2,884,275
流動負債合計	14,300,231	13,266,915
固定負債		
役員退職慰労引当金	210,647	198,249
退職給付に係る負債	167,807	179,677
資産除去債務	20,198	20,702
繰延税金負債	771,900	731,204
固定負債合計	1,170,551	1,129,831
負債合計	15,470,783	14,396,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	33,536,075	34,446,063
自己株式	△5,251,910	△5,251,996
株主資本合計	66,434,014	67,343,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,885,535	3,147,972
為替換算調整勘定	5,421,572	5,318,551
退職給付に係る調整累計額	456,816	447,045
その他の包括利益累計額合計	8,763,923	8,913,567
非支配株主持分	244	226
純資産合計	75,198,182	76,257,710
負債純資産合計	90,668,965	90,654,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	17,638,508	19,882,455
売上原価	14,701,721	16,264,549
売上総利益	2,936,787	3,617,906
販売費及び一般管理費	2,324,982	2,432,504
営業利益	611,806	1,185,402
営業外収益		
受取利息	35,189	57,324
受取配当金	97,039	99,685
有価証券売却益	330,452	263,584
その他	26,458	32,925
営業外収益合計	489,138	453,517
営業外費用		
売上割引	19,509	21,472
開業費償却	31,540	—
為替差損	161,258	1,184
貸倒引当金繰入額	1,000	△8,000
その他	3,495	4,383
営業外費用合計	216,803	19,038
経常利益	884,140	1,619,880
特別利益		
固定資産売却益	777,612	3,556
特別利益合計	777,612	3,556
特別損失		
固定資産売却損	137	2,745
固定資産除却損	167	25
投資有価証券評価損	5,000	—
特別損失合計	5,305	2,770
税金等調整前四半期純利益	1,656,448	1,620,666
法人税等	175,009	209,167
四半期純利益	1,481,439	1,411,499
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,481,436	1,411,505

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,481,439	1,411,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288,460	262,437
為替換算調整勘定	△516,167	△103,033
退職給付に係る調整額	△1,896	△9,772
その他の包括利益合計	△229,604	149,633
四半期包括利益	1,251,836	1,561,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251,820	1,561,150
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,943,393	6,268,333	5,426,783	17,638,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,379	22,548	—	57,928
計	5,978,772	6,290,882	5,426,783	17,696,436
セグメント利益	326,019	340,877	199,945	866,841

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	866,841
セグメント間取引消去	3,976
全社費用(注)	△259,011
四半期連結損益計算書の営業利益	611,806

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,124,899	6,832,583	6,924,973	19,882,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,651	29,482	—	77,133
計	6,172,550	6,862,066	6,924,973	19,959,588
セグメント利益	747,768	351,477	314,996	1,414,242

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,414,242
セグメント間取引消去	△948
全社費用(注)	△227,892
四半期連結損益計算書の営業利益	1,185,402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。